



## 22km。「こんなに歩けると思わなかった！」



県北 21  
宇都宮 22  
チャリティウォーク  
みんなで作るセーフティネット  
「フードバンク」



▲多気不動尊を巡る



「チャリティウォーク県北 21・宇都宮 22」を 10/2 に県北、10/9 に宇都宮で開催しました。チャリティウォーク (=CW) とは FB の広報と運営資金を集めるためのイベントです。宇都宮 22 では 70 人が歩き、約 50 人のボランティア、さらに多くの寄付者・協賛企業によって無事開催することができました。

8 月から本格的に参加者と寄付の募集となりましたが、栃木県は緊急事態宣言の真っただ中。イベントの開催も危ぶまれる中での苦しい募集活動となりました。しかし 9 月末で宣言も解除され、当日は沢山の人が参加していただきました。

宇都宮コースは、今年初めての 大谷地区 を歩くことにしました。どのように楽しんでもらうか、何度も現地を下見し、多気不動尊を折り返すコースとなりました。急な坂や長い階段もある修行のよう

なコースでしたが、みなさん笑顔で歩いていました。今回の注目ポイントは、FB うつのみや、日光、真岡、下野、鹿沼、県北のフードバンクが参加した合同ファンドレイジング (=寄付集め) イベントにしたことです。そして休憩所の運営を各地の FB のボランティアに行ってもらい、個性豊かな接待が参加者に喜ばれました。

閉会式では「自分がこんなに歩けると思わなかった！また参加したい」と嬉しい言葉を多くいただきました。FB は無償で食べ物を預かり、生活に困る方に無償で渡す活動。みなさんのご支援が不可欠です。FB を盛り上げるためにも、来年も CW で皆さんと笑顔で会えることを楽しみにしています。(徳山)

## 「ゆるいつながり」だけど、同じ方向を向いた仲間がいる

私は「生活困窮者支援」にもともと興味を持っていました。仕事以外の自分の時間を使って、何かできることはないだろうかと調べてみると、FB うつのみやの情報が目に留まりました。

ただ食品を渡すだけではなくて、その人に必要な支援を行うという「総合相談支援」に、とても興味を惹かれました。

私は土曜日だけ参加しているのですが、ボランティアってもっと本腰を入れて関わらないといけないってイメージだったんです。でも、空いた時間に参加するだけでも出来る感じがしかりあって、そういうボランティアが流動的に、入れ代わり立ち代わり団体に関わっている。関わらないけど他人じゃない、「ゆるいつながり」だけど、同じ方向を向いた仲間がいる、良い居場所だなと思って活動しています。

これまでは食品管理作業をしていましたが、今度からは相談支援に挑戦します。どういう人が食品をもらいにくるのか、実生活の中で知る機会がないような現実を知るために。

ぼつきたボランティアに何が出来るかわからないけど、話を聞くだけで役に立つのならやってみようと思います。

塚原さん (ボランティア)



相談シートの記入中▶

# 今月のSOS

FB 相談世帯数（食品提供回数）

8月 50 世帯（支援 99 回）

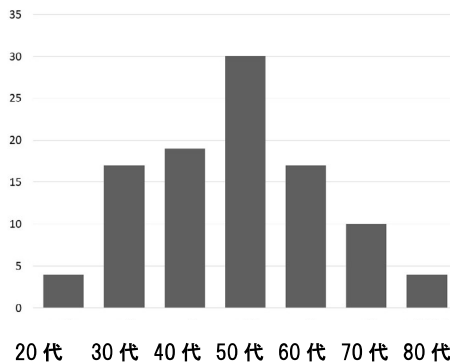
9月 51 世帯（支援 64 回）

※福祉施設等への食品提供も含む

FB 主な利用理由(2021/8-9)\* 複数回答・総数 101 人



FB 年代別 相談者数 (2021/8-9)



80・50 問題が深刻です。

この2カ月間で、外国にルーツのある方は6世帯でした。

## 今月のSOS の一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して掲載。

### 7月 50 世帯（複数支援 99 回）

- 8/6 ● GR 女 80 代以上・宇都宮。夫婦とも認知症のため金銭管理ができず。年金までお金が無い。自宅はゴミ屋敷。息子は関わりを拒否。地域包括支援センターが毎日訪問している。⇒米 4kg 支援。
- 8/6 ● IE 女 40 代・県内。3人家族。コロナ禍の影響を受けてパートのシフトが激減。収入が安定しない。20 歳の長男も働いてい

- るが収入はあてにできない。前職の収入が多く児童扶養手当の額も低い。⇒米 15 kg 食品 18 kg、生理用品支援。
- 8/6 ● YT 女 30 代・宇都宮。日本に来て 20 年。日本に来て今の夫と知り合い結婚し子どもが 2 人いる。夫の収入で生活ができていたが、脳梗塞で働くことができなくなってしまった。私が働いて生活を維持しようと思ったが、幼稚園の仕事が夏休みになり出勤日数を減らされてしまった。減収となり生活保護を申請中である。⇒米 5kg 食品 5kg 支援。
- 8/7 ● AK 男 40 代・宇都宮。両親が離婚して父と生活をしてきた。父親が亡くなりその後は一人暮らしをしている。精神状態が不安

- 定になり、生活保護費を一気に使って死のうと思ってお金を全部使ってしまった。しかし、死にきれずケースワーカーに FB 利用を勧められた。⇒食品 4kg 支援。
- 8/25 ● AS 男 30 代・宇都宮。ベトナム人。新型コロナ感染して、隔離状態になり外出が不可能になった。会社の寮で療養となったが、食品を買いに行くことができない。⇒米 3kg 食品 6kg 支援。
- 8/27 ● KM 男 30 代・宇都宮。10 年前までトラックの運転手で生活していた。トラックの荷台から転げ落ちて足に障害ができてから働けなくなって生活保護を受給している。ガスを滞納してしまつてガスを止められる話になり、慌てて支払った。手持ちのお金が無くなり困窮。⇒米 3kg 食品 3kg 支援。
- 8/28 ● TU 女 30 代・宇都宮。高校生と 1 歳児がいるシングルマザー。生活費が嵩んで食費に回すお金がない。飲食店で接客をしていたが、コロナの影響でシフト・収入減。乳児を預けられる場所・人がないと復職も難しい。⇒米 10 kg 食品 14 kg 支援。

## FBでたすかりました

### コロナ禍の中、きずなセットには本当に助けられました

菅原幸子さん（仮名：43 歳 / 宇都宮）

飲食店で働いていますが、コロナ禍でシフトが減り、収入減。私が 1 日 1 食にして、食費を切り詰めなんとか生活していました。子ども達の食事は減らせません。そんな中、きずなセットを知り、すぎる思いで申し込みました。お米や備蓄品、子ども達へのお菓子など沢山届きました。子どもたちも久しぶりのお菓子に笑顔が。それから、1 ヶ月に 1 度、きずなセットを申込みするようになり、子どもも「明日きずなセット届くかな?」と待っています。

コロナ禍の中、きずなセットには本当に助けられました。あれから少しずつ生活状況も変化し、シフトも以前に比べると入れるようになってきました。しかし、先の見えないコロナ禍の不安、子ども達の生活、仕事の不安…。まだまだ不安がつきませんが、前を向いて頑張りたいと思います。毎回、気持ちが込められた食品に感謝の気持ちでいっぱいです。



- ### 9月 51 世帯（複数支援 64 回）
- 9/3 ● IT 男 50 代・宇都宮。先日父親が死亡し葬儀費用とお寺への諸費用で約 40 万円かかる。支払い上手く行かず。最近仕事に行けなかったため手持ち金無い。来週には仕事に入り、日給貰える。⇒食品 4 kg 支援。
  - 9/4 ● UO 男 30 代・宇都宮。妻と 2 人暮らし。生活保護を受けていたが、警備の仕事について生保から抜け出すことができた。しかし、仕事が減ってしまつて収入が半分減ってしまった。⇒米 10kg 食品 7kg 支援。

# FB 利用者増・20代女性3倍、40-50代女性2倍 コロナ禍で女性の困窮表面化。非正規雇用・子育て・8050問題・低年金

## コロナ禍でジェンダー格差の影響 顕著に

コロナ禍における2020年度にフードバンクを利用した人は、新型コロナウイルス感染症が広がる前の2018年度の利用者数に比べ、1.63倍(681人→1294人)と大幅に利用者が増えている(図1)。

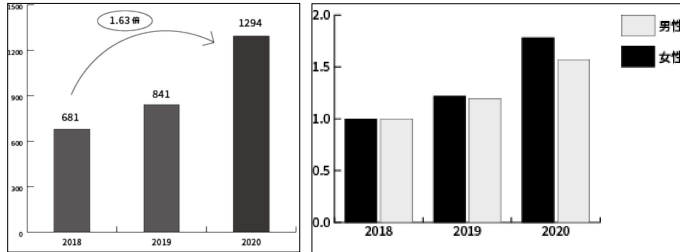


図1) 年度別利用者数

図2) 利用者年度別増加率(男女)

男女別では、男性1.57倍(217人→340人)に対し1.78倍(87人→155人)と明らかに女性の利用が増えている(図2)。ジェンダー格差の影響がコロナ禍になって顕著になってきたといえよう。利用相談の男女比は男性世帯:女性世帯=7:3の割合でほぼほぼ変動していない。しかし年度全利用者における独居男性世帯の割合は、2019年度6割だったが、今年に入り5割台と大幅に減少してきた(19年度60.1%、20年度57.4%、21年9月末まで54.4%)。これまで多かったのは、失業などでダイレクトに貧困に結びつく独居男性世帯だった。利用者全体が増えているため一概には言えないが、女性の利用増加をみると、これまでとは違った困窮世帯の姿が表面化してきた。

## 若年女性「子育て」「非正規雇用」・高齢女性「低年金」「8050問題」

女性を年代別で2018年度と比較すると(図3)、20代は20年度3.2倍(6人→20人)と非常に増加した。40代、50代はそれぞれ約2倍となっている(40代:21人→42人、50代:17人→33人)。非正規雇用の比重が高く、教育費にお金が掛かる子

育て世代で、コロナ禍による労働・雇用条件の悪化が原因なの

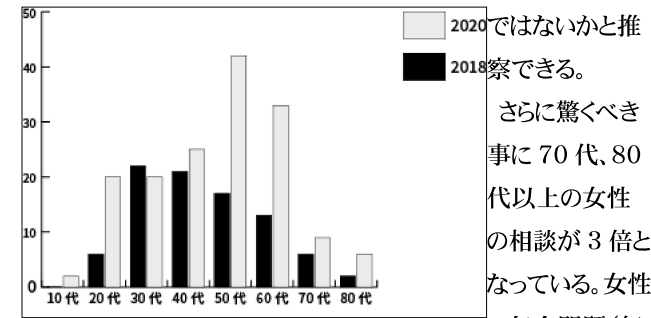


図3) 年代別女性利用者数(2018, 2020)

ではないと推察できる。さらに驚くべき事に70代、80代以上の女性の相談が3倍となっている。女性の年金問題(無年金や低年金)に加え、コロナ禍で高齢者にも可能なバイト・パート等が激減していることが大きな要因だろう。さらに「8050問題」が隠されていることが多い。高齢の母親と、引きこもりとなってしまっている勤労世代の子(息子、娘)がいる世帯の利用が増えてきた。話をすると、それぞれの苦しみを抱えながら同居している様子がうかがえる。

## 働きにくいすべての人へ ユニバーサル就労

そのような困難の打開の道のひとつとして「ユニバーサル就労ネットワーク栃木」が発足した。働きたいのに働きにくいすべての人に寄り添い、職場に迎え入れる仕組みを目指している。制度的には、主に障害者を対象としてきた就労支援が定着してきているが、働きづらさも多様化してきた。年齢、障害の有無、理由を問わず、すべての人を対象にした「中間的就労」の仕組みづくりが始まった。FBを利用する人への生活再建の支援の一助としていきたいと考えている。

■ユニバーサル就労ネットワーク栃木  
多くの「働きづらさを抱える人」の伴走支援・両者を適切に「つなぐ」ため、複数の企業・事業所とネットワークを作り、2021年10月に発足しました。  
HPはこちら→



小澤勇治 ● 本会職員

### <生活困窮者就労訓練事業>

生活困窮者自立支援法に定める自立相談支援機関のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受け入れ、その状況に応じた就労の機会を提供する事業。なお、民間団体の自主事業として位置づけられており、運営費等の行政からの補助はない。事業所ごとに宇都宮市長の認定を受けることが必要。宇都宮市では2事業所が認定されている。(宇都宮市HPなど・栃木県内は16事業所)

9/9 ● M0 男 30代・宇都宮。人材派遣会社の正社員。春からうつ病を発症し現在休職中。傷手申請したいが事業所の証明が受け取れず、申請もできていない。生活費捻出できず。貯蓄を切り崩して生活してきたが所持金2千円のみ。⇒食品4kg支援。

9/10 ● EY 女 50代・宇都宮。70代の夫と2人暮らし。外国にルーツがある。コロナ禍の影響で英語教室の講師の仕事が激減した。日本語での意思疎通が難しい。⇒米3kg食品5kg支援。

9/11 ● SW 女 40代・宇都宮。イラン出身で、昨年日本語学校に留学した。今年2月、本国にいる夫からの送金が無くなり困窮して

いる。⇒米4kg食品5kg支援。

9/14 ● GR 男 60代・宇都宮。生活保護を受けて住んでいたアパートが事故物件と判明し、昨年飛び出してしまった。5か月間の路上生活も限界を感じ生活保護に戻りたい。⇒食品1kg支援。無料宿泊所紹介。

9/16 ● IE 女 60代・宇都宮。精神障害の息子が同居することになり、食費がかかり、生活のやりくりが出来なくなった。生保利用。ヘルパーが買い物や調理をしている。屋内は張って移動し、歩行は出来ない。⇒米3kg食品4kg支援。

9/17 ● YT 男 40代・宇都宮。母がキャンセル依存、本人も統合失調症のため働けず。

通院先の看護師から「フードバンクの食料配布がある」と聞いた。⇒米3kg食品3kgじゃがいも1kg支援。

9/21 ● AK 男 50代・宇都宮。先日職場(夜勤専門の工場)で体調不良となる。翌日病院受診し新型コロナに感染と判明、自宅療養となる(2日に1回保健所の訪問あり)。2週間後は陰性になったが味覚障害、息切れ、節々の痛みが残る。体重は8kg減少。貯蓄切り崩し生活しており、手持ち金300円ほど。⇒米3kg食品8kg支援。

## フードバンク応援団！

# 貧困はみんなが取り組む社会課題



このコーナーでは、フードバンクの団体会員に入会していただいた企業・団体を紹介します。

NPO 法人自立生活センターとちぎ 理事長 斎藤康雄さん

障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に尊重し共生する社会の実現に向けて活動している NPO 法人です。主に障害福祉サービス事業を中心に相談支援、就労継続 B 型事業、ヘルパー養成研修を行っています。どんなに重度の障害を持っていても当たり前地域で暮らせるように活動しています。

障害者権利条約では、「障害は個人の問題ではなく、社会側(大多数が使い易い環境)にある」という社会モデルを謳っています。また、日本でも貧困は自己責任という風潮がありますが、貧困は自己責任でも他人事でもなく、皆が主体的に取り組む社会課題です。

フードバンクうつつのみやの活動にも、障害当事者として、協力できる場所をお手伝いしていきたいと思えます。

## 大学生が大活躍中!インターン制度を始めました

9月から大学生2人をインターン生として受け入れています。インターン生は、ボランティアより一歩踏み込んで活動していただいています。酸いも甘いも経験していただいています。どんなことを感じているのか?今回は伊藤さんに想いをお聞きしました。



↑きずなセットの封入作業終わりに。

●宇都宮大学2年 伊藤和樹さん

これまで約半年間ボランティアをしてきましたが、9月からインターン生となり、今まで以上に食品寄付から生活相談・食品提供までの一連の流れを深く体験しています。FBに相談に来る方の聞き取りを見学し、適切な団体や制度につなげるために、「利用者の現状、気持ちなどを聞き出す”聴く力”の重要性を感じています。様々な方と話すことで、常に多くの学びや発見があり、インターンを経た後の成長がとても楽しみです!

## FB ボランティア募集

●問 /028-348-3412

おきがるに ご連絡ください

### ・相談聞き取りボランティア

FBに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度。

### ・パソコン入力ボランティア★大募集

食品の入庫・出庫伝票のデータをパソコンに打ち込みます。週1回程度。

### ・食品回収ボランティア★大募集

スーパーや施設に置いてあるきずなボックスの食品の回収のために車を運転します。月2~4回。

### ・食品管理ボランティア

入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備します。週に1~2日、2~4時間位が目安です。

## サンタ de ランで参加者・寄付募集 (第一締切11/30)



サンタ de ランは、県内14の子ども支援団体の合同チャリティイベントで、FBうつつのみやも寄付先団体として参加しています。今年は宇都宮のまちなかをゴミ拾いしてきれいにします。参加者・寄付を募集。参加費はすべて活動への寄付になります。みんなでサンタになって子どもの貧困をなくしましょう。●イベント当日 12/19

●参加申込:第一締切 11/30、

最終締切 12/10

●寄付受付 12/28まで



クモクモ川柳  
●棚すつと  
シチューは残り  
具が買えぬ  
●食べ物で  
いろんな国に  
行けるかも!

## 会員・寄付者 ありがとうございます♡



8/30 現在: 正会員36人、賛助143人、団体7)

《8~9月の新規・継続会員》※敬称略

■正会員 / 葭田真彦、小松原美来

■賛助会員 / 小林クリーニング店、伊藤広道、小林成之、吉岡真紀子、高木敏江

《8~9月の寄付者》※敬称略

宮原美夕、笠原依里子、恵弘寺、高木敏江、篠山栄二、八洋フーズ、林基直

口寄付合計 / 105,630円

「もったいない」を  
「ありがとう」に。  
会員を大募集中!  
ボランティアも

◆会費(年間)

◎正会員	12,000円
◎賛助会員	3,000円
◎団体会員	30,000円
◎学生サポーター	1,000円

会費・寄付はこちら ※匿名希望の方はご連絡ください

■銀行

栃木銀行 馬場町支店 普通 1086399

名義 / 特定非営利活動法人フードバンクうつつのみや 理事徳山篤  
※領収書発行のため、メールか電話で、氏名と連絡先をご一報ください。

■郵便局

宇都宮 00260-2-90882

特定非営利活動法人フードバンクうつつのみや

■Webサイトから

クレジットカードでのご寄付もできます。



HP



Twitter